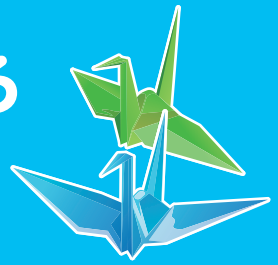




被爆地ヒロシマが被曝を拒否する —過去は変えられないが未来は変えられる— 伊方原発運転差止広島裁判



いま司法が止めているのは
全国で唯一広島高裁決定の
四国電力伊方原発3号炉

止め続けよう伊方3号

2018
8/3 金
新仮処分

広島高裁決定の9月30日期限延長を求めた

広島地裁新仮処分申立 第1回審尋期日

勝って
伊方3号
停止中

- ◆新仮処分に勝てば、伊方3号炉は9月30日以降も引き続き運転できません。
- ◆第1回審尋期日では、藤澤裁判長の要望によって住民側・四電側双方の火山事象に関するプレゼンテーションが行われます。(一般非公開)
- ◆この第1回審尋期日が最後の審尋期日となる可能性が大了。

ぜひ応援に
来て下さい。

8月3日当日のスケジュール

広島地方裁判所	広島弁護士会館3Fホール
	12:30 開場
	13:00 集合・移動開始
13:10 広島地裁前、南西角交差点に集合	
13:15 広島地裁乗込行進、審尋出席者送り出し	
13:30 第1回審尋開始(一般非公開)	13:30 開場
	14:00 学習会開始
四国電力側・住民側双方からプレゼン各90分。 なお住民側のプレゼンは、日本を代表する火山灰学の権威、東京都立大学名誉教授の町田洋先生が行う予定。	地球に「火山の冬」をもたらすかもしれない ～巨大火山噴火について学ぼう～
	16:30 学習会終了
17:00頃 審尋終了予定	17:00頃 審尋終了次第、記者会見・報告会開始予定
	18:00頃 終了予定

学習会 (14:00 ~ 16:30)

地球に「火山の冬」をもたらすかもしれない ～巨大火山噴火について学ぼう～

コーディネーター：早坂 康隆 先生

広島大学大学院理学研究科准教授。地質学者。専門分野にプレート・テクトニクス論があり、その立場から火山学にも造詣が深い。

- 火山の巨大噴火をわかりやすく説明したビデオ視聴
 - 「巨大噴火が伊方地域に与える影響」(火山灰学者 町田洋氏)の意見書を読み合わせ・解説
 - 火山事象に関する意見交換会
- を予定しています。ぜひご参加ください。

参加費
資料代
無料

夏休み!
小中高校生の
学習会のみ
参加も大歓迎!



画像引用：日本語 wikipedia「ピナトゥポ山」より
「噴火するピナトゥポ山(1991年6月12日)」
ピナトゥポ山はフィリピンのルソン島にある火山。1991年爆発時、絶頂時で火山灰は高度40kmまで達した。噴出物(火砕物・火砕流の堆積物)は約10km³と推定されている。